**インフルエンザ(2026 年第 44 週)疫学情報**

《コメント》

2026 年第 44 週の定点当たり報告数は 10.26(患者報告数 38,205)となり、前週の定点当たり報告数 9.49 よりも増加した。都道府県別では愛媛県(27.89)、北海道(21.90)、岩手県(17.17)、青森県(16.63)、秋田県(15.72)、山形県(14.51)、埼玉県(14.22)、宮城県(14.18)、鹿児島県(14.04)、福島県(13.77)、新潟県(13.44)、沖縄県(12.95)、長崎県(12.90)、兵庫県(12.07)の順となった。全国 47 都道府県中、33 都道府県では前週の報告数よりも増加し、13 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 918 例であり、前週(932 例)から減少した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(29 例)、1～4 歳(121 例)、5～9 歳(113 例)、10 代(45 例)、20 代(10 例)、30 代(10 例)、40 代(13 例)、50 代(37 例)、60 代(78 例)、70 代(181 例)、80 歳以上(281 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 39 週～2026 年第 43 週)では、AH1pdm09 が 203 件(94%)、B 型が 7 件(3%)、AH3 亜型が 5 件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。